

三年生を送る会

二月二十二日(水)の午後一時より、ティアラこうとう大ホールにて「平成二十八年度三年生を送る会」が行われました。この新聞では、今年度最後の学校行事の一部始終を掲載します。

朝八時四十五分、会場前には生徒会と三送会の準備・リハーサル関係者が集まっていました。会場入りしてすぐに、吊り看板の作成が行われました。2年D組と1年F組に作成していただいた紅白二種類の花を看板に貼り、吊り下げると、とても華やかになりました。



準備・リハーサルが終わると、ついに三年生を送る会の本番が始まりました。開会宣言から始まり、音楽部の軽やかな演奏やダンス部の迫力ある発表、そして音楽部の伴奏と一年生の合唱と共に、全教員による三年生への歌のプレゼントがありました。

舞台有志の発表は、楽器の演奏や歌の発表などがあり、三年生だけでなく他学年全体が盛り上がるものとなりました。発表が終わるごとに、会場から惜しみない拍手が沸き起こり全体的に温かい雰囲気となりました。

三学年教員のシークレットでは、昨年ヒットした『逃げ恥』のキャスト(?)が「恋ダンス」の映像と歌のプレゼントがありました。

最後の出し物となった三年生へのスライドショーでは、一年の頃の体育大会の写真から始まると、三年生は懐かしさに浸っていました。中には感動で涙を流す三年生も見受けられました。

退場の際には、三年生の各クラスの代表から在校生に向けてのビデオメッセージが流れました。三年生との最後の行事となった三送会は、全員の思い出に残る最高のものとなりました。

音楽部 合同定期演奏会

昨年の十二月十八日(日)に、江東区文化センターホールにて音楽部の第二十七回合同定期演奏会が行われました。

今回の定期演奏会は、昨年よりも大きく変更された点が沢山あり、部員達が作成したプログラムの配布や、五人ほどの人数で曲を演奏するアンサンブルコーナーの追加などがありました。

合同定期演奏会は、音楽部演奏の「SDHマーチ」と共に開演しました。初めにPTA・昭和会コーラスの女声合唱、次に同窓生や音楽部部員による男声合唱、最後は出演者全員による混声合唱でした。各学年有志のアンサンブルでは、情熱大陸のメインテーマやオリジナル曲を演奏し、会場を盛り上げました。最後の吹奏楽の演奏では、クリスマスソングメドレーやジブリ名曲集、ディズニープリンセスメドレーなどを演奏、最後は同窓会も加わってアメリカの曲を演奏して会場を沸かせました。



音楽部部长 遠藤花音(2E)

今回の定期演奏会は特に思い出に残るものとなりました。一年生の時は初めての定演で右も左も分からない状態でただ演奏者として出演していました。しかし、二年生で部長になって関わっていきなかつたところも関わるようになりました。それは必要な資料やセッティング表の作成、定演の大まかな流れを決めることです。

そして新しい試みとして、アンサンブルコーナーを入れたりプログラムを生徒が作成したり、三年生の花束贈呈を去年の反省を生かして企画しました。そのお陰で同年代のお客様も増えて幅広い年代層の方が聴きに来てくださるようになりました。動員数もここ数年では一番多いと言われていた第一回定期演奏会に勝るほどでした。

今までとは全く違った定期演奏会は様々な企画や製作に時間がかかり、吹奏楽やアンサンブルの曲も同時に練習しなければならなかったのもとても大変でした。ですが、三年生の先輩や部員達が助けてくれたので乗り越えることができました。来年度は、今回の反省を生かしてより良い定期演奏会にしたいです。

鉄道研究部 運転会

二月二日(木)から四日(土)にかけて、本館地下B5教室にて鉄道研究部の鉄道模型の運転会を行いました。

今年度より、初めて運転会をすることとなった鉄道研究部の部員たちは、みんな緊張した様子で鉄道模型の準備を進めていました。教室に鉄道のレールを引き、そこに操縦器付きの鉄道を走らせるものでしたが、鉄道の造形は全て細かく、中には車内が光るものもありました。運転手となり鉄道を走らせる部員は、みんな所定の位置にびたりと鉄道を止める技を披露し、一般生徒や先生方に大いに喜ばれました。ちなみに走っている鉄道は昭和第一近辺を走る中央線の車両や、寝台特急カシオペアなどがありました。部員のみならず、車両に詳しくない人にも丁寧に車両の説明をしていました。



鉄道研究部 佐藤 諒(2C)

今回私たち鉄道研究部は、二月二日から四日の間に本館B5教室で鉄道模型の運転会を行いました。鉄道模型の展示に向けて、一カ月前の部活から準備し、見に来た人が楽しめるような色々な企画を準備しました。展示日の前日には、鉄道模型のレイアウトを作りあげました。鉄道研究部の部員の皆が協力して一生懸命準備しました。展示日には、生徒だけではなく、たくさんの先生方にも見に来ていただきました。来た人の中には「車両の運転をしたい!」という人もいたため今後は来た人も運転できるようにしたいと思います。

走っていた車両は、昭和第一のすぐ近くを走る中央線の車両から、東京と札幌を走る寝台特急カシオペア、北海道と九州まで日本全国を駆け抜けた特急車両の485形などの人気の高い車両もたくさん走りました。

また、走っていた車両の中には車内が光る車両もあります。そのため、展示室を暗くした状態で走らせるととても幻想的は景色になります。見に来た生徒や先生にとっても好評でした。次の運転会でも行おうと思います。その際はぜひ一度見に来てください。鉄道好きでなくても楽しめるよう準備して、みなさんのお越しをお待ちしています。

改めて、鉄道模型の運転会に来ていただいたみなさん、本当にありがとうございました。

ダンス部発表会

一月三十一日(火)の放課後より、本校の講堂でダンス部の発表会がありました。グループで発表する団体もあり、また、一人で発表する人もいました。ダンス部と言えば、個々の個性や獨創性があふれている部活動だと思えます。

また、発表を終えていくごとに、会場全体が盛り上がり一体感を生み出していました。

印象に残った部分は、女子生徒が踊る「恋ダンス」です。ダンスだけでなく衣装にもこだわり、また、見ている側も無意識に踊っている人もたくさんいました。

今後の文化祭などの発表も、期待させてくれるものでした。



ダンス部部长 小峰 小百合(2G)

私たちダンス部は、一月三十一日に講堂で発表会をしました。今回の発表は、今までのダンス部と一味違うものになりました。今までは、一曲四分ほどで作り、踊っていましたが、今回は一曲二分半という短い時間で作りあげました。そうすることによって、沢山の曲、ジャンルを楽しむことができます。これは初めての試みで、練習の時間を組むことが難しく、練習するのに苦労しました。さらに、講堂で踊るといことは初めてだったので、距離感の掴み方、広がり方にも苦労しました。当日は来てくださった皆さんにカイロのプレゼントをしました。みんなとても緊張していました。無事終えることができ良かったです。終わった後、良かったよ!と喋ってくれた友達もいて嬉しく思いました。練習時間が短いこともあり、あまり納得いくものができなかったことが悔いに残ります。もっと人を感動させるようなダンスが見せられるように、日々努力します。次のダンス部の発表もぜひ見に来てください!

取材・編集

生徒会書記

清水 萌

渋谷 友通